

大学として求める教員像（大谷大学）

大谷大学は、建学の理念や使命・目的を実現するために「求める教員像」を以下のとおり定める。

- ① 仏教の精神および建学の理念を理解し、教育・研究活動に取り組める者
- ② 教育における必要な知見と経験を有し、なにより学生一人ひとりを大学の使命に従って育て上げるという強い責任感を持つ者
- ③ 教育・研究・大学運営等の活動において、積極的に学生と関わり、職員と協働できる者
- ④ 研究においては、人間の普遍的かつ現代的な課題に取り組み、社会の発展に資することを実践する者
- ⑤ 地域連携・社会貢献においては、研究の成果を広く社会に還元し、研究者としての社会的責務を果たすことができる者
- ⑥ 自らの資質向上に取り組み、大学運営に主体的且つ協力的な行動ができる者

教員組織の編制に関する方針（大谷大学）

人物養成と社会貢献という責任を果たすため、文部科学省の設置基準に準拠して教員を配置し、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）等の各種方針に沿って、各学部が学位を授与するために必要な教員組織を整備する。また編制にあたっては、「求める教員像」を踏まえるとともに、教員の性別や年齢構成、国際性にも配慮する。これらの方針に沿って、本学部の教育・研究の実践にふさわしい教員組織を編制する。

- ① 大学・学部・学科のそれぞれの組織において、教員間で連携をとり、教育課程や大学運営等において適切に教員の役割を分担する。
- ② 教育上主要と認められる科目については、専任教員が担当するように配置する。
- ③ 文学部においては、歴史の中で蓄積されてきた多様な文化的所産に学ぶことを通して、人間と世界に関わる根本的な問題を解明し、深く自己を洞察しつつ現代社会を主体的に生きることのできる人物の養成を実現し、学士（文学）の学位を授与するために必要な資質・能力を持った教員組織を編制する。
- ④ 社会学部においては、現代社会の諸課題に向き合うことを通して、地域社会など身近な場において、異なる他者と敬い合いながら生きることのできる世界を構築する構想力と実践力を身につけた人物の養成を実現し、学士（社会学）の学位を授与するために必要な資質・能力を持った教員組織を編制する。
- ⑤ 教育学部においては、純真な人格形成を目指す高い教職意識と責任感を持ち、社会的常識や対人関係能力を備えて子どもたちの声に耳を傾けることのできる、慈育の精神に富んだ専門職業人の養成を実現し、学士（教育学）の学位を授与するために必要な資質・能力を持った教員組織を編制する。
- ⑥ 国際学部においては、グローバル社会において、建学の精神に基づいて自己のアイデンティティを確立し、多様な他者の存在に気づき、寄りそうことのできる人物の養成を実現し、学士（文学）の学位を授与するために必要な資質・能力を持った教員組織を編成する。